

「子どもの居場所と学び場づくり」

なかよし寺子屋グループ

補助金：193,000円

【地域課題、目的】

- ①子どもの居場所と学び場づくりを提供して、生きる力を養う。
- ②農業体験を通して、働く喜び、感謝の気持ち、収穫の楽しさを実感する。
- ③生活苦から塾に行けない子どもたちに無料で学習の場を与えることを通して、学習意欲を育てる。
- ④大人と子ども、異年齢の子どもとの交流を通して、コミュニケーション能力の向上を図る。



【事業内容】上記に対して

- ①ア、日々の活動（図書館で読書、宿題、遊びなど）
イ、なかよし寺子屋無料塾
ウ、イベント活動
- ②農業体験
- ③①のイと同じ
- ④ア、なかよし寺子屋に大人、子どもが集まって交流
イ、なかよし寺子屋塾で子どもと塾長、スタッフ、講師、親で交流
ウ、地域の大人が畑で野菜等を育てているので、子どもと交流



【実施内容】

- ◆日々の活動（出入り自由の図書館で読書、宿題、遊びなど）
日時：毎日8：00～17：00
参加者数：毎日10数人
- ◆なかよし寺子屋勉強会
日時：15回開催、10：00～11：30
(7/16、8/6、8/20、9/3、9/17、10/1、10/15、11/5、11/19、12/3、12/17、1/21、2/4、2/18、3/3)
参加人数：約10人
- ◆農業体験
日時：月に4回、14：00～15：30
参加人数：約10人

【事業の効果】

- ・勉強会は生活苦の子どもたちを主な対象者として、自主学習をメインに、ワークショップ、農業体験などをして、生きる力の育成、働く喜び、感謝の気持ちの習得、学習意欲の向上、郷土愛及び人間力の向上などの効果があった。
- ・事業を通じて、親の子どもへのかかわり方の変化だけでなく、親の自立にもつながった。



第5回山のうまいもんまつり

結願の里多和の会

補助金：500,000円

【地域課題】

新型コロナウイルス感染症拡大により、多和地区のさぬき市地域活性化複合施設「結願の里」の運営が永らく思うように進まなかった。

今年度は収束の兆しが見えてきたので、多和地区の活性化の弾みとして山のうまいもんまつりを企画し、地区内外からたくさんの人に来場してもらい、元気な地区として活性化したい。



【事業内容】

- ・天体望遠鏡の展示、利用体験、望遠鏡の工作教室等
- ・生け花展示会、体験教室
- ・家族で餅つき体験
- ・竹細工教室 など



【実施内容】

- ◆日時：11月19日（日）
- ◆会場：さぬき市活性化複合施設「結願の里」（旧多和小学校）
- ◆総来場者数：約1,500人、スタッフ120人
- ◆効果
 - ・4年近くイベントができていないが、参加スタッフが過去最高の人数となり、地域間の交流や活性化につながった。
 - ・催し物や運営方法など企画、準備段階から若い人に入ってもらったことで、今まで以上に意義のあるイベントになった。
- ◆反省点
 - ・駐車スペースが狭く混雑したことから、お客様に御迷惑をお掛けしてしまった。
 - ・ステージを初めて設置したことにより、テントの位置が分かりにくい部分があった。今後は配置場所及びアピールの方法などを検討する必要性を感じた。



さぬき地域留学

一般社団法人さぬき市津田地区まちづくり協議会

補助金:286,000円

【地域課題】

- ①海辺を中心とした空き家の増加
- ②移住検討者の受け入れ態勢の少なさ
- ③森林所有者の高齢化による担い手不足
- ④観光客の受け入れ態勢の無さ

【事業内容】

上記課題に対し、関係人口の創出を図るため、参加者に各地域課題解決の拠点づくり、DIY、アイデア出し、制度づくり、展示物作成などを通じて携わってもらう。また、当該事業終了後も参加者による成果物が仕組みとして地域に残り続ける形で実施することにより、再来訪時に成果物を見ることが出来る状態を目指す。



【実施内容】

- ◆受入期間: 9月1日~9月14日
- ◆参加者数: 12名から応募があり、その内定員の6名が参加
(地域: 6人中5人が東日本 年齢: 18歳~25歳で高校生、大学生、社会人など)
- ◆地域課題に対して
 - ①海辺の空き家を活用しようとする事業者が行うDIYに参加し、店舗及びシェアキッチンの改修に関わった。
 - ②津田に拠点を置く事業者と連携し、お試し移住中の方と地域の困りごとをマッチングする制度の企画立案を行い、「ねこの手クエスト」という取組を実施した。
 - ③放置林の間伐及び薪割りを行った。また、放置林の伐採/ピザ屋の薪に/調理後の木炭を藍染め工房の染め液として活用というサイクルや、山のもつ役割についての展示物を作成、設置した。
 - ④観光客の利用できる朝食を提供する場所の設計、企画及びDIYを行った。

【参加者へのアンケート結果】

- ・総合的な満足度: 平均8.66(10段階評価)
- ・設問「年度内に、またさぬき市を訪れたいか」に対して: 「訪れたい」回答が6名中5名外1名が「距離的には遠いため金銭的に難しいが、気持ち的にはまた訪れたい」と回答



さぬき市志度図書館開館20周年記念事業

さぬき市図書館友の会

補助金：147,000円

【地域課題】

さぬき市図書館（志度・寒川）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、来館者が減少している。

地域の知の拠点、学びの場であり、情報発信の場でもある図書館が、利用が増え、ひとりでも多くの市民（子どもから高齢者まで）の楽しい居場所となるように、図書館職員も利用者も共に協力して、温かみのある図書館をつくっていききたい。



【事業内容】

志度図書館開館20周年を記念して、以下の3つの多彩な行事を計画

①「読み聞かせ講演会&ライブペインティング」

開催日：6/18（日）

会場：志度保健センター

日本を代表する絵本作家・谷口智則さんを講師に迎え、絵本の魅力や読み聞かせの方法を学び、素晴らしいアートが生まれる瞬間を共に楽しむ。

②「スペシャルおはなし会」

開催日：10/22（日）

会場：志度図書館

友の会のおはなしボランティアによる楽しい、バラエティに富んだ、盛だくさんの「おはなし会」を実施。

③「志度図書館20年の歩みと展望の特別展」

開催期間：10/22（日）～10/29（日）

会場：志度図書館

20周年を振り返る特別パネル展で、志度図書館のあゆみと今後の展望を紹介。



【実績】

①開催日時：6/18（日）13：00～15：30 参加者：89人

実施内容：ライブペインティングでは、子どもたちが描いてほしい生き物の名前をリクエストすると、先生が大きなキャンバスに次々と描き込み、その絵に合わせてオカリナ演奏が始まり、子どもたちも歌いながら参加し、大作が完成。

参加者の意見：谷口先生は、子どもの声をしっかり聴いてくれ、話術巧みで、先生の絵も紹介してくれた絵本も素晴らしかった。

②開催日時：11/4（土）10：30～11：30 参加者：41人

実施内容：「カエルの合唱」手遊び、「おばけだじょ」（大型絵本）、「うさぎとかめ」（人形劇）など。

参加者の意見：とても楽しかった。また参加したい。

③開催期間：10/26（木）～11/5（日）

参加者：志度図書館来館者は期間中に2,546人

実施内容：2003年開館から、2023年までの図書館の歩みと展望を、とりのこ紙22枚にまとめ、図書館ロビーにパネル展示。

来館者の意見：興味深く、楽しく拝見した。

